[くるま座]談会 21世紀のサステイナビリティ学を語ろう!

❶[日　　時]　2016年11月19日(土)　13時～15時
[内　　容]　**「太平洋のサンゴ礁島を海面上昇から守れるか?」**
地球温暖化による海面上昇により水没の危機にあるといわれているツバルやマーシャル諸島などのサンゴ礁島について紹介し、どのように海面上昇に立ち向かうか理解を深め語りあいます。
[話題提供]　**藤田 昌史**(茨城大学工学部准教授)

❷[日　　時]　2017年1月7日(土)　13時～15時
[内　　容]　**「水俣旅行ガイド」**
環境教育・共生の知の研究の中で、水俣の地元学を学びに訪ねてきました。その中で出会った人や風景、物や事を紹介しようと思います。みなさんも水俣に行ってみたくなる、そんな時間にしたいと思います。
[話題提供]　**郡司 晴元**(茨城大学教育学部准教授)

[内容]　茨城大学では、21世紀になって生まれたサステイナビリティ学(持続可能性学)の諸問題に、地球変動適応科学研究機関(Institute for Global Change Adaptation Science: ICAS)が中心となって取り組んでいます。私たちは、多くの市民がその対話の輪に参加して一緒に取り組むことが不可欠だと考えています。今回の講座は、昨年度に引き続き、2人の専門家がそれぞれ分野の最先端を紹介し、それらについて「くるま座」になって語りあう場を提供します。一緒に大いに語りあいましょう!
[コーディネーター]　**伊藤 哲司**(ICAS機関長、茨城大学人文学部教授)
[会場]　茨城大学図書館本館1階ラーニングコモンズ
[後援]　茨城大学地球変動適応科学研究機関(ICAS)

館長講座「中世茨城[常陸・北下総]のもののふたち」

[日時]　2016年12月3日(土)　15時30分～17時
[講師]　**高橋 修**(茨城大学図書館長、人文学部教授)
[内容]　**「結城氏と『結城合戦絵詞』」**
室町時代唯一の合戦絵巻として知られる『結城合戦絵詞』。下総・結城一族の歴史を紐解きながら、この注目すべき絵巻の成立背景と、絵の中に込められた人々の思いを甦らせます。
[会場]　茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール
[後援]　茨城大学中世史研究会

茨城大学図書館2016年度後期企画展
「岡倉天心(覚三)の遺産展 ―木村武山の代表作《小春》公開―」

1906年、岡倉天心(覚三)が茨城県五浦に日本美術院を移転し、近代日本画の歴史は大きく動きました。岡倉が没した後、横山大観を中心とした弟子達は再興日本美術院を組織し、理想的な日本画を作り上げます。木村武山の《小春》は、その記念すべき第一回展に出品された渾身の力作です。その他、茨城大学が所蔵する安田靫彦、酒井三良らの作品や資料を展示し、天心が遺した業績を振り返ります。

【会場】　茨城大学図書館本館1階展示室
【会期】　2016年11月5日(土)～11月27日(日)
※11月23日・26日は休館日
平日10時～16時　　土日11時～17時
【主催】　茨城大学図書館
【共催】　茨城大学五浦美術文化研究所

木村武山「小春」

茨城大学では、土曜アカデミーの他にも社会連携センターにおいて「公開講座・公開授業」を開講しています。
詳細は、茨城大学社会連携センターホームページhttp://www.scc.ibaraki.ac.jpでご確認ください。
問合せ先　茨城大学社会連携センター　【生涯学習担当】TEL 029-228-8413

水戸キャンパス

JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行(栄町経由)」に乗車、「茨大前」で下車。
時間帯によっては、「茨大正門前」(最寄り)で下車することができます。(バス乗車時間は約25分)

※車でお越しの際は、守衛所(■)で入校許可証を受け取り、
車で矢印(←---)の通りに進んだ先の駐車場にお止めください。

問合せ先　茨城大学図書館 本館　〒310-8512　水戸市文京2-1-1　茨城大学水戸キャンパス
TEL 029-228-8076　Mail ser-lib01@ml.ibaraki.ac.jp

本事業は、自然災害等により中止となる場合もあります。茨城大学図書館ホームページhttp://www.lib.ibaraki.ac.jp/でご確認ください。

2016年度後期
(2016.10～2017.2)

茨城大学図書館の土曜アカデミー

地域の皆様と、学生たちと、ともに学び楽しむイベント・講座のご案内

すべての事業が**無料**です
申し込みも**不要**です
どなたでもご参加いただけます

主催　茨城大学図書館
共催　茨城大学COC統括機構 社会連携センター
後援　茨城大学人文学部市民共創教育研究センター

秋の文化財・歴史資料の曝涼(ばくりょう)・公開 プレイベント　日曜開催!

2015年度の事業より
(常陸太田市中染阿弥陀堂)

[日時]　2016年10月2日(日)　13時～15時
❶講演
「佐竹一族の遺産―公開寺院の周辺から―」
[講師]　**高橋 修**(茨城大学図書館長、人文学部教授)
❷ガイダンス
「ここが見どころ!今年度公開の文化財・歴史資料」
[講師]　**高村 恵美**(常陸大宮市文書館 主任)
千葉 隆司(かすみがうら市郷土資料館 学芸員)
西野 保(常陸太田市教育委員会文化課 主査兼係長)
額賀 大輔(笠間市教育委員会生涯学習課 主事)
[内容]　文化財・歴史資料を、それを伝えてきた地域住民や所蔵者の手で、「曝涼」(虫干し)というローコストな昔ながらの手法で保存・公開する事業が、常陸太田市の取り組みをきっかけに、周辺自治体にも広がりつつあります。茨城大学で歴史を学ぶ学生たちも、解説に、「おもてなし」にと活躍中です。常陸大宮市に加え、今年度は笠間市・かすみがうら市でも、連携した曝涼・公開事業が行われます。このプレイベントでは、10月、11月の本番を前に、公開される文化財・歴史資料の魅力を詳しく解説します。
[会場]　茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール
[主催]　茨城大学図書館　笠間市教育委員会　かすみがうら市教育委員会　常陸太田市教育委員会　常陸大宮市教育委員会
[後援]　茨城大学人文学部歴史・文化遺産コース　茨城史料ネット

サイエンス・カフェ
映像配信により日立キャンパスでも視聴できます!

［日時］ 2016年10月22日(土)　13時～14時30分
［講師］ **野澤 恵**(茨城大学理学部准教授)
［内容］ **「秋と冬の星座の話と最近の天文の話題」**
秋と冬の星座はオリオン座をはじめ、特徴のあるものが多くあります。それらの星座の由来となったギリシャ神話を紹介し、日本に伝わる星座の話にも触れます。12月には「ふたご座流星群」があり、冬の夜空を見上げ星の世界に想いをはせましょう。加えて天文学の最前線の話題についての話も行います。2016年の最後に大きなイベントがあることはご存知でしょうか?
［会場］ 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール
※茨城大学日立キャンパスE1棟41番教室でもテレビ会議システムを利用した視聴が可能です
日立キャンパス問合せ先　茨城大学図書館工学部分館 TEL:0294-38-5012

新著を語る『深海生物テヅルモヅルの謎を追え! 系統分類から進化を探る』

［日時］ 2016年10月29日(土)　15時30分～17時
［講師］ **岡西 政典**(茨城大学理学部助教)
［内容］ 「新種」という単語にどのような印象を持たれますか?「滅多に見つからない」と思われる方は多いでしょう。しかし、現在我々が名前を付けて認識している約180万という種数は、全生物種数の数%～数10%に過ぎないと言われています。すなわち我々はまだ、この地球上の生物の全貌すら、把握できていないのです。生物に名前を付ける学問を「分類学」といいます。「新著を語る」では、謎に満ちた深海生物「テヅルモヅル」を研究対象としてきた著者の経験を踏まえながら、分類学についてご紹介します。
［会場］ 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール
［後援］ 理学部岡西研究室

セノテヅルモヅルのエタノール標本(左)と新著

土曜美術館 doyoBi

［日時］ 2016年11月19日(土)　13時～14時30分
［講師］ **清水 恵美子**(茨城大学社会連携センター准教授)
［内容］ **「岡倉天心と『日本美術史』」**
岡倉天心(覚三)は、東京美術学校長時代に、日本美術の歴史について講義しました。校長の職を退いた後も、生涯「日本美術史」の研究を続けました。天心が考えた「日本美術史」とは、どのようなものだったでしょうか。天心の生涯を、4つの時代(文部省官僚時代、日本美術院設立時代、インド滞在時代、五浦・ボストン時代)に区分して、それぞれの時期に彼が描いた「日本美術史」の特色と、内容の変化について考えてみます。
［会場］ 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

聞いてみっぺ・語ってみっぺ・方言昔話

［日時］ 2016年12月10日(土)　14時～16時
［講師］ **杉本 妙子**(茨城大学人文学部教授)
［内容］ 方言の昔話を聞いたことがありますか?知っているお話も、方言で語られると違ったお話に聞こえてきます。そして、とても味わい深くなります。方言の力ですね。茨城にもたくさんの昔話があります。この講座では、茨城弁の昔話や東北弁の昔話などを、地元茨城で語りや読み聞かせの活動をしている方々や福島弁・青森弁の語りの方々に語っていただきます。いろいろな方言の昔話を皆さんといっしょに楽しみながら、方言の違いや方言の魅力を感じたいと思います。
［会場］ 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

水戸ホーリーホックのフットボール・カフェ

［日時］ 2016年12月17日(土)　13時～15時
［出演］ **水戸ホーリーホック・トップチーム選手若干名**(当日発表)
水戸ホーリーホック・営業部の皆さん
寺田 忍(茨城大学OB、水戸ホーリーホックホームゲームスタジアムDJ)
ホーリーくん(水戸ホーリーホックマスコット)
［顧問］ **藤縄 明彦**(茨城大学水戸ホーリーホック応援ネットワーク代表代行、茨城大学理学部教授)
［内容］ **第一部「営業部は見た!―素顔のホーリーホック、Jリーグの裏側―」**
第二部「フットボールにかける青春―選手座談会―」
水戸市等をホームタウンとするプロサッカークラブ・水戸ホーリーホックと国立大学法人茨城大学は連携協定を結んでいます。両者のコラボで実現したフットボール・カフェ。今回、第一部では、ホーリーホック営業部の皆さんに、地域密着型Jクラブの運営の難しさ、楽しさ等々、スタッフの目線から語っていただきます。第二部には選手も登場。スタジアムDJを担当する寺田忍さんが、フットボールの魅力、Jリーガーの素顔に迫ります。
［会場］ 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール
［共催］ FC水戸ホーリーホック　［後援］ 茨城大学水戸ホーリーホック応援ネットワーク

2015年度の会場風景

古文書寺子屋 はじめの一歩

［日時］ 2017年2月4日(土)　13時～16時30分
［講師］ **添田 仁**(茨城大学人文学部准教授)
千葉 真由美(茨城大学教育学部准教授)
木戸 之都子(茨城大学人文学部助手)
［内容］ 江戸時代の水戸に生きた人びとのくらしぶりを、茨城大学図書館に収められている古文書から読み解いてみたいと思います。古文書は、江戸時代を生きた人たちからのメッセージです。そのメッセージのつまったタイムカプセルを開ける鍵が「くずし字」です。解読の初歩を学びたい方、大歓迎。大学生と一緒に、みなさんも古文書の世界へ一歩ふみ出してみませんか?
［会場］ 茨城大学図書館本館1階ラーニングコモンズ
［後援］ 人文学部添田ゼミ　教育学部千葉ゼミ　茨城史料ネット

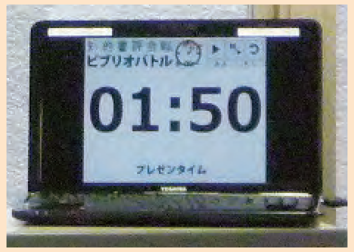
みんなの考古学 どきドキ講座2016
日曜開催!

［日時］ 2017年2月12日(日)　13時～14時30分
［講師］ **田中 裕**(茨城大学人文学部教授)
［内容］ **「北関東の豪族たち―前方後円墳のおわりと激動の7世紀―」**
同タイトルで開催が予定されている「第12回茨城大学人文学部地域史シンポジウム【1/28(土)、於:栃木県壬生町中央公民館】」の成果をまとめてお話しします。茨城大学考古学研究室ではこれまで、栃木県壬生町車塚古墳や茨城県つくば市平沢3号墳など、前方後円墳が築かれなくなった以降の古墳を調査してきました。そこで今回は、律令国家に向かって激動する7世紀を生き抜いた、地域の豪族たちに焦点を当てます。発掘調査やシンポジウムの成果を、教員や学生がわかりやすく解説します。
［会場］ 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール
［後援］ 茨城大学考古学研究会

壬生車塚古墳発掘での小学生体験発掘の様子

ビブリオバトル in 茨城大学
日曜開催!

［日時］ 2017年2月12日(日)　15時～17時
［進行］ **飯塚 大空**(茨城大学大学院生)
［顧問］ **谷口 基**(茨城大学人文学部教授)
［内容］ **「本の魅力を伝え合う知的書評合戦!」**
前回は一般からも多くの挑戦者をお迎えして盛り上がりをみせた「ビブリオバトル in 茨城大学」。第3回の開催が決定いたしました。出場者それぞれが「この本は面白い!」「この本を他の人にも読んで欲しい!」と思う「心の一冊」の魅力を5分間で語り、参加者全員の投票で、「一番読みたくなった本No.1」を決める知的ゲームです。準備するのは、紹介する本だけでOK! ジャンルも自由! 当日飛び入り参加も大歓迎です。愛読書一冊を手に、あふれんばかりの書物愛を胸に、茨城大学図書館までお集まりください!
［会場］ 茨城大学図書館本館1階ラーニングコモンズ



ブック・カフェ

❶［日　　時］ 2016年10月29日(土)　13時～15時
［テキスト］ **バーネット『秘密の花園』**
光文社古典新訳文庫(864円)など。
著者バーネットは「小公女」「小公子」でも知られています。読み終わったとき、強い励ましと幸せを感じる作品。庭や園芸、生物に興味のある方もぜひご参加下さい。
❷［日　　時］ 2016年12月3日(土)　13時～15時
［テキスト］ **ハーディ『テス』**
岩波文庫(上・下)(900円、799円)など。または、『呪われた腕　ハーディ傑作選』(新潮文庫、670円)所載の短編を。
何度も日本語訳され、ロマン・ポランスキー監督、1979年の映画化でもよく知られている名作です。原題は「ダーバヴィル家のテス」。今の私たちにとっても深いテーマの作品を、じっくりと読み、語りあいたいと思います。
❸［日　　時］ 2017年2月4日(土)　13時～15時
［テキスト］ **魯迅「祝福」「狂人日記」「故郷」**
「祝福」は『酒楼にて／非攻』(光文社古典新訳文庫、802円)、「狂人日記」「故郷」は『阿Q正伝・狂人日記』(岩波文庫、734円)など。
中学校で習う「故郷」、魯迅の代表作「狂人日記」「祝福」をとりあげます。魯迅が問いかけるものを読み解いていきましょう。

［ナビゲーター(講師)］ **西野 由希子**(茨城大学人文学部教授)
［内容］ 誰でも聞いたことがある、以前に読んだことのある「名作・古典」を読んで集まり、西野先生のレクチャーを受けながら、グループに分かれて語りあいます。これまでとちがった本の読み方ができ、作品への理解が深まります。「いろいろな世代の人の意見を聞けて楽しかった!」「読んでみてよかった」と好評いただいています。ごいっしょに、本を読む楽しさを味わいましょう!
＊テキストはお持ちのものなど、どの出版社の版でもかまいません。できるだけ、事前に読み、当日その本を持っておいで下さい。お好きな回だけの参加も可能です。
［会場］ 茨城大学図書館本館1階ライブラリーカフェ(エントランスホール集合)
［後援］ 人文学部西野ゼミ　＊お飲み物代は各自ご負担いただきます。